地域再生計画（地方創生港整備推進交付金）中間評価調査

都道府県名	長崎県	事業実施主体	長崎県	地域再生計画名	中通島（五島列島）のくらしと産業を支え地域社会を維持する港づくり計画
計画期間	令和3年度～令和7年度	評価責任者	長崎県土木部港湾課長、水産部漁港漁場課長		

①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標		基準値		中間目標値		最終目標値		中間評価	達成状況		中間目標値の実現状況に関する評価	
	指標1	指標2	基準年度	R2	年度	中間実績	基準年度	R7		指標総数	達成数		
	魚類養殖生産数の増加		2,672トン	R2	2,761トン	R5	3,680トン/年 (R4)	2,851トン	R7	○	2	3	既に最終目標値を達成している
	観光客延数		220,385人	R2	244,000人	R5	160,923人/年 (R4)	244,000人	R7	×	2	1	コロナ禍による行動制限により観光客数が減少したものの、島内の世界遺産観光を目的とした観光客の増加が見込まれる。
	上五島地区離島体験等交流数		6,278人	R2	6,500人	R5	3,090人/年 (R5)	6,500人/年	R7	×	2	1	コロナ禍の影響により減少したものの（韓国からの巡礼ツアー訪問者減）。今後回復していくことが想定される
②事業の進捗状況	事業名			整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価						
特別措置を適用して行う事業	港湾施設（有川港）（有川地区）		計画	中間年度 (R5)	最終実績 見込み								
	防波堤（改良）	260m		95m	260m	当初計画に対し、整備量からみる進捗率は、15%であり進捗に遅れが生じている。計画期間の延長を行い、引き続き、計画に則した整備を目指していく。							
	防波堤（改良）（2）	480m		0m	480m								
	浮桟橋（B）（改良）	1基	0.1基	1基	1基								
浮桟橋（C）（改良）	1基	0基	1基	1基									
浮桟橋（D）（改良）	1基	0基	1基	1基									
物揚場（-3m）（S）（改良）	90m		0m	90m									
港湾施設（青方港）（大曾地区）		計画	中間年度 (R5)	最終実績 見込み									
物揚場（-3m）（改良）	165m		4m	165m	当初計画に対し、整備量からみる進捗率は、20%であり進捗に遅れが生じている。計画期間の延長を行い、引き続き、計画に則した整備を目指していく。								
浮桟橋（改良）	1基	0.2基	1基	1基									
漁港施設（浜串漁港）		計画	中間年度 (R5)	最終実績 見込み									
-4m岸壁	68m		68m	68m	進捗率100% 令和4年度完了								
-4m岸壁B	10m		4m	4m									
南物揚場	69m		69m	69m									
-5m岸壁	145m		145m	145m									
-6m岸壁	70m		70m	70m									
K取付護岸 L取付護岸	21m 20m		21m 20m	21m 20m									
その他の事業	特定有人国境離島地域社会維持推進交付金事業		輸送コスト支援			特定有人国境離島地域の地域社会の維持を図るため、運賃低廉化、物資の費用負担の軽減、雇用機会の拡充及び観光振興等に必要な経費の一部を支援する事業であり、物流・人流の輸送コスト支援として運賃低廉化をH30より実施中である。							
	水産業所得向上支援事業					県、市町、系統団体、専門機関が連携して整備した指導体制により、経営強化に向けた経営計画の策定や収益性の高いモデル型経営体の取組事例の普及を進め、所得向上と優良経営体育成を進める。これまでに、優良事例の普及活動等を行っている。また、漁業者を対象とした経営意識の醸成に向けた講習会を開催している。							
	観光資源として港湾の利活用推進		青方港の釣り文化振興モデル港指定			新上五島町における釣り文化振興を目的とし、釣り観光の拠点整備及び釣り観光充実に向けた体制整備を図るため、R2.8に青方港が国土交通省による釣り文化振興モデル港に指定された。上五島町漁協による観光客への釣り体験事業をR4.10に開始している。							
	五島産水産物ブランド化		五島箱入り娘			上五島で漁獲された四季折々の旬の魚の厳選された鮮魚を「五島箱入り娘」としてブランド化し福岡、長崎等に出荷している。今後とも消費の拡大を図る。							
計画外で独自に実施した事業													
③評価方法	まち・ひと・しごと創生対策懇話会を開催し、評価・検討等を行う予定としている。												
④中間評価の公表方法	長崎県のホームページに掲載												
⑤計画全体の総合評価	本地域再生計画では、港整備交付金事業を活用した港湾および漁港施設の整備と同時に、水産業振興、観光振興のソフト事業を組み合わせ、上五島地区の養殖生産数、観光客数、離島体験交流者数の増加を目指していくものである。なお、観光に関する指標において、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中間目標が達成できていない状況であるが、この影響が軽減されたことにより観光客数や漁獲物の需要が回復してきているため、引き続き事業進捗を図り、早期効果発現を図る。事業進捗に遅れが生じていることから計画期間2年の延長が必要である。また、資材単価及び労務単価の上昇により工事費が増となっている事業があるため、事業費の増額が必要である。												
⑥今後の方針等	中間評価結果の反映状況					有りの場合その具体的内容							
	地域再生計画の見直し（有○ 無○）					事業進捗に遅れが生じていることから計画期間及び事業期間を2年延伸する。また、資機材や労務単価の上昇に伴う事業費の見直しが必要である。							
令和7年度予算要望額への反映（有○ 無○）													
有りの場合の増減額					千円								
⑦今後の方針等に対する対応	<ul style="list-style-type: none"> ●事業期間延長計画の変更の認定申請を予定 <ul style="list-style-type: none"> ・有川港の防波堤（改良）、防波堤（改良）（2）、浮桟橋（B）（C）（改良）、物揚場（-3m）（S）（改良）、青方港の物揚場（-3m）（改良）、浮桟橋（改良）の事業期間がR9dまで要することから計画期間を2年間延長する。 ●資機材や労務単価の上昇に伴う事業費の見直し <ul style="list-style-type: none"> ・総事業費 認定時2,943,000千円→見直し後2,427,000千円 [516,000千円（うち交付金700,900千円）減] 												